

# 感染性胃腸炎の予防について



感染性胃腸炎は、**下痢・嘔吐**（腹痛・発熱）が主な症状です。

症状がなくなっても、1～3週間はウイルスの排出が続きます。

便の状態が良くなっても注意しましょう。

## <ご家庭へお願いしたいこと>

◎**家族全員で、手洗いとうがい**を行いましょう。外から帰った時、食事の前、

**トイレの後**は、必ず**石けんと流水**で洗いましょう。

◎下痢や嘔吐などの症状があるときには、**早めに医師の診察**を受けてください。

受診の際は、必ず**保育園に通園していること**を伝え、

- ① **感染性のもの**ではないか
- ② **登園はしてよいか** の確認をお願いします。



◎ **感染性胃腸炎になった場合は、医師の許可があるまでは登園できません。**

（→医師の診断を受け保護者が記入する登園届が必要になります）

◎**登園の際は、いつもと違った様子や発熱、下痢、嘔吐の症状がありましたら、必ず保育者までお知らせください。**

◎下痢や嘔吐をすると体力を使い、また脱水を起こしやすいので、湯冷ましなどの

**水分補給**を少しずつ行いましょう。



◎食欲がない時は、**食事は控えめ**にして、水分を多く取れる食事にしましょう。

揚げ物や油分が多いものは症状を悪化させるので避けます（子どもが欲しがるものよりも、おかゆや煮うどん等の、腸を刺激しないものを選ぶようにしましょう）

## <保育園でのお願い>

保育園への登園・降園の際は、**園児だけでなく、送迎の保護者の方も手消毒・マスクの**

**着用**してから保育室に入られますようご協力をお願い致します。

また、**下痢をした後は、普通便が出るようになってからの登園**をお願い致します。

## 家庭で吐いたり、下痢をした時は・・・



### ◎吐いたものや、下痢がついたオムツ・パンツを片付ける時は・・・

- ・換気をしましょう(窓を開けたり、換気扇を回し空気を入れ替えて)
- ・嘔吐物などは、ぼろ布等で十分にくるんでから(ウイルスを飛散させないため)、  
ビニール袋に入れるなどの密閉処理をしましょう。
- ・すべてが終わったら、よく手を洗いましょう。

### ◎下痢や吐いたものがついた場所は、拭き取ったら・・・

- ・塩素系漂白剤(家庭用ハイターなど)で下記の濃度にて消毒してから、水拭きしてください。  
(漂白剤は原液で使用しないでください)

### ◎カーペットやじゅうたんなど洗えないものは・・・

- ・よく拭き取ったら、アイロン(85℃以上で1分位)をかけるのも効果があります。

感染性胃腸炎の1つの原因であるノロウイルスは、アルコール系は効果がありません。  
(カラー系漂白剤もききません)



### 市販の漂白剤(塩素濃度約5%)で消毒する場合の薄め方

消毒するもの	濃度	希釈の方法
○便や吐物がついた床等 ○衣類などの漬け置き	1000ppm (0.1%)	原液 10ml(ペットボトルキャップ 2杯)に 500mlのペットボトル 1本の水
○食器などの漬け置き ○トイレのコック、ドアノブ、便座 手すり、床等	200ppm (0.02%)	原液 2ml(ペットボトルのキャップ半杯)に 500mlのペットボトル 1本の水

- (1) 漂白剤として市販されている次亜塩素酸ナトリウム(塩素系家庭用ハイターなど)の塩素濃度は、確認してから薄めましょう。
- (2) 薄める時に、直接漂白剤が手に付かないように、手袋をしましょう。  
少しでも付いたら、すぐに水で洗い流しましょう。
- (3) 漂白剤は、布を脱色したり、金属をさびつかせることがあります。  
消毒後は水拭きや、水洗いを必ずしましょう。

